

ことばだより



●目次

| | | |
|--------------------------------|-------|----|
| 巻頭随筆 言葉はおいしい | 後藤繁榮 | 2 |
| 国語 | | |
| 年間指導計画の作成 | 井上典子 | 3 |
| 「打ち言葉」はじめまして | 澤田英輔 | 6 |
| 書写 | | |
| 教育現場のユニバーサルデザイン「UDデジタル教科書体」と書写 | 高田裕美 | 10 |
| 郷土かるた—文字文化としての魅力、教科等横断的な学習材— | 原口美貴子 | 12 |

言葉はおいしい

後藤 繁榮
アナウンサー



料理番組を長年担当して思うことは、料理にまつわる言葉は実に豊かだということです。特に和食では、「切る」という調理にもさまざまな表現があります。「輪切り」「半月切り」「いちよう切り」「さいの目切り」「あられ切り」「みじん切り」「色紙切り」「短冊切り」「乱切り」「かつらむき」「千六本」「蛇腹切り」「菊花切り」「茶筌ちやせん」等々。見た目の多彩さのみならず、切り方の違いで味わいに多様さが生まれるのです。和食のおいしさをつくる調理法には、豊かな日本語が息づいています。

番組では、料理ができあがったところで試食してどのようにおいしいのかを伝えるのがお約束です。これが難しい。また味の感じ方はあくまで主観的なもの。濃い味が好き、いや薄味がいい、人それぞれ嗜好しこうが違います。より多くの視聴者にその料理に興味をもってもらうための言葉表現には悩みます。甘味、塩味、酸味などは使う食材や調味料をご覧いただければ想像はつくでしょう。なので、私の場合は画面から伝わりにくい香りや食感を意識して伝えるようにしています。

その食感を表現する言葉、日本語はとても豊富なのです。「さくさく」とか「もちもち」などオノマトペ（擬音語・擬態語）が重要な役割を果たしています。「ゼリーがぶるぶるして、つるんとすべる」とか、「かりっとしているのにはもちもちのピザ」など、食べ物の様子をリアルに表現することができます。リングゴでも食べるものによって、「さくさく」する食感だったり、「しゃきしゃき」とか「しゃくしゃく」というように微妙に違う食感を言葉にしています。外国

語に比べて日本語は食表現が多彩だといわれています。それだけ日本人の食感覚が繊細なのかもしれません。家族や友人と食事をするときに、豊かなオノマトペでお互いの食感表現を楽しむのもコミュニケーションに役立つのではないのでしょうか。

楽しいこと、それは食べるときにも料理をつくるときにも大切なことだと思っています。番組を担当し始めた頃、私は「料理できないおじさん」でした。先生から「コシヨウを振って」と言われたので振ったのですが、なかなかコシヨウが出ない。「あらいやだ。コシヨウのフタ閉まったままじゃないの！」と言われ、とっさに出た言葉が「なあんだ。コシヨウ（故障）してるのかと思った」。その瞬間、緊張感みなぎるスタジオがふっと和やかな雰囲気になったのです。先生は、「あらあら、テレビをご覧のみなさんも和やかになったと思うわよ。あなたにもできることがあってよかったわね」と。それ以来、私は番組でときどきダジャレをつぶやくようになりました。乱切りしている大根が転がると「大混乱ですねー」、ネギが安かったと言われれば「値切ったんですか？」というように。これも日本語の特徴の一つ、同音異義語が豊富だからこそその言葉遊びです。言葉は料理をさらにおいしくしてくれる調味料になります。ぜひお楽しみください。

ごとう しげよし 一九五一年岐阜市生まれ。一九七五年NHK入局。現在はフリーアナウンサーとしてNHK「きょうの料理」「ラジオ深夜便」を担当。二〇〇五年「ギャラクシー賞」奨励賞個人受賞。著書に「後藤アナのダジャレ教室」（小学館）、「笑顔を引き出す会話力」（ベスト新書）ほか。

国語

年間指導計画の作成

年計はこんなふうを活用しよう



前東京都江戸川区立平井西小学校校長

井上 典子

■年計はなんのためにつくるの？

令和二年度から新学習指導要領（平成二十九年告示）が完全実施され、教科書も一新されます。各学校では、二学期後半から三学期にかけて次年度の年間指導計画（以下、年計という）の作成が始まることでしょうか。年計の作成にあたって、学習指導要領総則には「学校の創意工夫を生かし、全体として調和のとれた具体的な指導計画を作成すること」とあります。けれど、多忙な学校現場では、短期間で年計を一から作ることは無理な話です。多くの学校は、教科書発行者が示す年計をそのまま利用しているのではないのでしょうか。授業時数の確保や、何を重点化していますか、領域の系統性など、多面的な視野からバランスを考えて作成されていますか、領域ら、安心して使える年計といえます。

しかし、指導書などに示された年計をそのまま使用すると、実際にはちよつとしたズレや不自然さが生じるはずで、例えば、学校公開で子どもたちを活躍させたいけれど、当該時期に配当の教材では表現活動を設定しづらいとか、社会科見学に行く時期と、報告文を書く学習の時期

が合わず、せっかく学んだことを生かせない……などです。そんなとき先生がたは教材を入れ替えて、効果的な学習になるよう工夫されることでしょうか。でも、それではその場しのぎ的な教材の入れ替えにすぎません。あらかじめ年間を見通して、学校行事や地域、子どもたちの特性などに合わせ、調整しながら年計を作成する必要があります。

さらに言えば、年計は作成して終わりではありません。ましてや教育委員会に提出するために作るわけでもありません。年計は本来、児童の実態や特性に応じて計画的かつ効果的に指導するためのものです。単元や時間のまとまりを見通して重点の置き方を工夫したり、他教科との合科的・関連的な指導を進めたりすることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図るためのものです。できれば、学期ごとに年計を見直し、ズレや不自然な部分を修正していくことが大切です。いわば年計のアップデートです。

■どのように見直したり修正したりすればいいの？

三つの例を紹介します。

【例1】地域・学校行事に合わせて単元を入れ替える

【二年生】学校公開が六月初めに予定されている。自信をもって活動する様子を地域や保護者のかたに見てもらいたい。

←

六月後半の『きつねのおきゃくさま』を、五月の『すみれとあり』と入れ替えて先に取り組み、音読大会を開く。

〔五年生〕地域の祭りが五月に予定され、毎年金管楽器のパレードで祭りに参加している。地域のよさを知ったうえで、自覚をもって祭りに参加させたい。

七月に配当されている『町じまん』をすいせんしよう』を、四月後半に繰り上げる。

このように、教科書の配列を確認したうえで、地域や学校に応じた単元・教材の組みかえをするなど柔軟な対応ができます。

【例2】扱い方を変える（重点の置き方・活動内容・時数など）

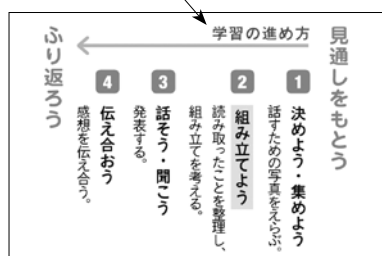
- ① 重点を見直す。
- ② 指導時数を変える。（総時数は変えない）
- ③ 活動内容を変える。
- ④ モジュール学習の活用。

Q & A

Q① 指導の重点」を変えてもいいの？

A 児童の実態や特性に合わせて、重点を変えたり増やしたりできます。ただし、年間を通して偏りのないように気を付けてみましょう。

教科書には学習の進め方が示されており、指導の重点には色がついています。



四上『写真をもとに話そう』(p.94)

Q② 指導時数を変えてもいいの？

A 指導書に示された配当時間は「標準時数」です。地域や児童の実態に合わせて柔軟に取り扱ってよいことになっています。例えば、四下『ごんぎつね』の配当時間は8時間。うち2時間は「書くこと」にあてられているので、実際は6時間で読むことになります。児童の実態から、もっと時間をかける必要があるなら増やしてかまわないのです。ただし、他の教材とのバランスを考え、時数を増やした分どこかを削り、総時数は変えないようにします。そのためにも年計は重要になります。

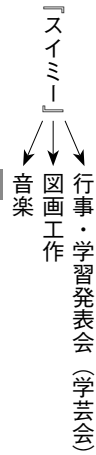
Q③ 活動内容を変えるって、どういうこと？

A 学習のねらいやつけたい力を教師が明確にもっていれば、活動内容が違ってても、同じゴールに着くことができます。例えば、五下『雪わたり』では、作品の魅力を紹介する活動が示されています。でも、これまでの学習経験を生かして『雪わたり』でリーフレットにまとめる活動をしていいわけです。登場人物の紹介や簡単なあらすじ、最後にコメントを書いてリーフレットにまとめるような活動が考えられます。

Q④ モジュール学習の活用って？

A 45分の授業時間を15分×3に分けたり、15分と30分で組み立てたり柔軟に運用するものです。漢字練習などは短時間の学習を積み重ねるほうが効果的です。「日記」や「発見ノート」「情報ノート」なども、決めた曜日の15分を利用して帯単元として継続的に取り組むと、習慣化しやすいでしょう。

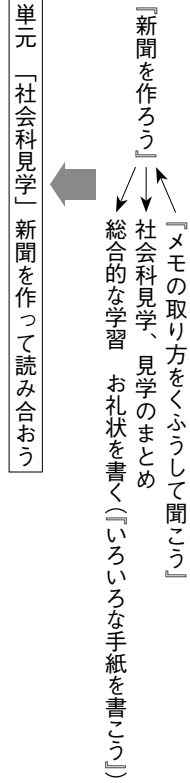
【例3】カリキュラム・マネジメントの視点で単元を組む
 〈一年生〉下の表は一年生の「この本で学ぶこと」です。全体を概観して
 みましよう。例えば、左記の矢印で示したような関連が見えてきます。



【例3】「スイミー」の物語の学習を核として、他教科や行事と関連させること
 で、より効果的な学習が期待できます。

【例3】「スイミー」の物語の学習を核として、他教科や行事と関連させること
 で、より効果的な学習が期待できます。

〔四年生〕



行事や他教科と関連することで充実した学習が期待できますが、国語
 科としてのねらい、つけない力はしっかりおさえる必要があります。

■まとめ

○年計は、年度初めに学習内容を概観し、実態に合わせて配列や組み立
 てを柔軟に工夫します。

○年計は学期ごとに見直して、アップデートすることが大切です。

教科書発行者から示された年計はあくまでも標準的なものです。教師の
 創意工夫で、生きた言葉の力がつく年計が作成されることを期待します。

この本で学ぶこと（1年生のカリキュラム・マネジメントの例）

| 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 他教科や行事との関連(例) |
|---|---|---|---|
| ええ 見て おはなししよう(一下p.24) うさぎの家族の絵を見て、お話をしよう。 | 見つけたよ、いきものの ひみつ(一下p.8) 生き物と触れ合った時のことを思い出して書こう。 【大事な言い方】 | はたらく じどう車(一下p.12) 自動車の「やくわり」と「つくり」のつながりを説明しよう。 ●なにについて かいて あるか、かんがえる ●絵と文をつなげて「やくわり」と「つくり」を読み取る。 | ●生活科 ・自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわり ・地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所への親しみ ・ICTや図書館を活用した調べ方 |
| 説明の仕方や書き方(読む・書く) 取材したことを説明する(話す) | 説明の仕方・順序・つながり(読む) 簡単な説明の文(書く) | うみへの ながい たび(一下p.32) 写真と文から誰が何をしたら読み、()や「」の他にも、母さん熊や子熊になったつもりで言葉を考えて発表しよう。 ●した ことを かんがえる ●誰が何をしているか、どんなできごとがどのような順序で起きたか考える。 ・子熊や母熊になって会話をする。 | □読書週間 ・学校図書館の活用 ・読書の習慣化 ・読み聞かせなどの読書活動 |
| 学校の ことを つたえあおう(一下p.106) 学校で働く人に知りたいことをたずねて、聞いた話を声の大きさを話速さを工夫して、正しく伝えよう。 ●おはなしを きく ・よくわからないときは、もう一度話してもらおう。 ●もっと聞きたいことがあったら、質問をする。 ●みんなの まえで はなす ・声の大きさを話速さを考える。 | 「のりものカード」で しらせよう(一下p.20) 「やくわり」と「つくり」のつながりを考えて、「乗り物カード」を書こう。 ●ぶんしょうを かく ・書きたいことを短くメモにまとめてから書く。 ・「やくわり」と「つくり」のつながりや順序を考えて書く。 | きこえて きたよ、こんな ことば(一下p.52) 写真をもとにふきだしの言葉を考えて、お話を書こう。 ●おはなしを かんがえる ・「いつ」「どこで」「何を」しているところかを考える。 ・写真の前や後のできごとを、想像する。 | □行事 ・学習発表会及び学芸会 |
| 想像したことを言葉にする(書く) 物語の登場人物の会話を想像する(読む) | 想像したことを言葉にする(書く) 物語の登場人物の会話を想像する(読む) | スイミー(一下p.66) 場面の様子に気をつけて読み、海の中でいろいろなものに会ったときの、スイミーの言葉を発表しよう。 ●はじめと おわりを くらべて よむ ・はじめと終わりを比べて読み、何がどう変わったかを考える。 ・スイミーの行動から、思いを会話文で書く。 みぶりで つたえよう(一下p.90) 文章と絵を合わせて読み、生活の中で使っている身振りを文章と絵で説明しよう。 ●ぶんしょうと えを あわせて よむ ・文章と絵を合わせて読む。 | ●図画工作 ・感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表す |
| 物語の登場人物の会話を想像する(読む) | 物語の登場人物の会話を想像する(読む) | お手がみ(一下p.124) 様子を思い浮かべながら読み、登場人物に宛てて手紙を書こう。 ●ようすを おもいうかべる ・どのような顔や身振りをしたのしょう。 ・なぜ、そのようなことをしたのしょう。 | ●道徳 ・相互理解、寛容 |
| 伝えたい思いを書く(書く) 伝えたい思いを想像する(読む) | 伝えたい思いを書く(書く) 伝えたい思いを想像する(読む) | おもい出の アルバム(一下p.114) 伝えたいことを思い出して書こう。 ●おもい出して かく ・できごとの時間の順に書く。 ・話したことや、聞いたこと「」を 【大事な言い方】 | ●生活科 ・自分自身の成長を振り返る ・感謝の手紙 ・保護者会での発表 ●道徳 ・友情、信頼 ・感謝 |

※「教師用指導書 総説編」に全学年の「この本で学ぶこと」を掲載予定。 ※弊社ウェブサイトでも全学年を公開予定。

「打ち言葉」はじめまして



軽井沢風越学園設立準備財団
澤田 英輔

■話し言葉と書き言葉

子どもたちは、日常会話から話し言葉を獲得し、次いで読書や作文などを通じて徐々に書き言葉を獲得する。その移行や使い分けはおおよそ小学校中学年頃から緩やかに始まるが、中学校以降、子どもと社会の接点が増えることを考えると小学校卒業までには、ある程度自覚的に使い分けられることが望ましいだろう。平成二十九年に告示された新学習指導要領でも、小学校高学年で「話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと」が指導事項とされ、それぞれの特色や役割を児童が認識できることが目標とされている。

教育出版『ひろがる言葉 小学国語 五上』では、この話し言葉と書き言葉の違いについて、「お米を作っている農家のかたへのインタビュー」と「グループ発表会の時に書いた報告文」を比較して、それぞれの違いを話し合う単元が用意されている。こうした教材を使いながら、利用場面に応じた言葉の適切な使い分けができるようになることが期待されている。

■「打ち言葉」とは

しかし近年、話し言葉・書き言葉以外にも注目されている表現がある。

それが「打ち言葉」である。ブログ、メール、SNSなどの文章表現やコミュニケーションが私たちの「書く」場の主流になりつつある現在、そのような「携帯メールやSNSなどを用いた私的場面における頻繁で短い言葉のやり取り」で用いられる、「くだけた話し言葉の文体」のことを「打ち言葉」という(文化庁、二〇一八)。絵文字やスタンプの利用をイメー
ジすればわかるように、こうしたウェブ上の言語コミュニケーションでは、単に従来の書き言葉がウェブ上でも使われるようになっただけではない。メディアが日本語の表記のあり方にも影響しているのだ(石井、二〇一七)。

話し言葉や書き言葉と比較した時の「打ち言葉」の特徴については、田中(二〇一九)の表がわかりやすいため、そのまま転載した

| | | 対面か | 同期的か | 双方向か | 匿名または偽装可能か | 拡散されやすいか | 受信者は限定的か | 非言語情報を使えるか | 備考 | |
|------|--------|-------|------|------|------------|----------|----------|------------|----|-------------|
| 話し言葉 | 会話 | ○ | ◎ | ◎ | △ | △ | ○ | ◎ | | |
| | ビデオ通信 | △ | ◎ | ◎ | △ | △ | ○ | ○ | | |
| | 音声通話 | × | ◎ | ◎ | ◎ | △ | ○ | ○ | | |
| 書き言葉 | 手紙・はがき | × | × | ○ | ○ | △ | ○ | △ | | |
| | ファクシミリ | × | △ | ○ | ○ | △ | ○ | △ | | |
| 打ち言葉 | 電子メール | PCメール | × | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 携帯メール | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | |
| | SNS | 会話型 | × | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | LINE 等 |
| | | コメント型 | × | △ | △ | ◎ | ◎ | × | ◎ | Twitter 等 |
| | | 画像説明型 | × | △ | △ | ◎ | ◎ | × | ◎ | Instagram 等 |

田中(2019)より『話し言葉』『書き言葉』『打ち言葉』の特性(試案)

い。全体的な傾向としては、「文字によるやりとりという点においては従来の書き言葉的であるが、書き言葉に欠落する副言語情報や非言語情報の補填を目指した各種記号、逸脱した表記や画像等の視覚情報に訴える要素や、話し言葉に近い言葉遣いや、ネットスラングを用いる」のが、「打ち言葉」の特徴である。そのうえで細かく見ると、同じ「打ち言葉」でも、書き言葉的な傾向が強いもの（例えばPCメール）や話し言葉的な傾向の強いもの（例えばLINE）などの違いがあり（田中、二〇一九）、加えて「話すように打つ」メディアである「打ち言葉」は、方言との相性のよさも指摘されている（田中、二〇一四）。

■「打ち言葉」の学習

さて、小学校高学年とは、こうした「打ち言葉」のメディアと本格的な接点をもち始める時期である。小学生のおよそ四人に一人が、家族と共用でパソコン、タブレット、ゲーム機などを用い、その率は学年が上がるにつれて上昇する。また、小学六年生になると五人に一人が本人専用のスマートフォンを持つようになる（学研、二〇一八）。電子メディアへの関心も高まる高学年期に、話し言葉・書き言葉に加えて「打ち言葉」の特性についても考える機会をもちたい。

そこで、『ひろがる言葉 小学国語 五上』の『話し言葉と書き言葉』の発展的取扱いとして、「打ち言葉」を考察の対象にすることを提言したい。ただし、農家のかたへのインタビュという状況設定では「打ち言葉」を使う場面としてふさわしくなく、インタビュでは比較的フォーマルな話し言葉が使われてしまう。そこで、次のような教室内でのインフォーマルな児童の会話を録画することから単元を始めてみよう。

（会話の例）

児童1「ニジャスどうする？」

児童2「ああ、つていうか昨日の続きとかよくね？」

児童1「（不審な顔で）昨日の」

児童2「（ささげぎって）え、ほら、3対5のままで終わったじゃん」

児童1「あー。それな」

児童3「あー、ねえ、うまつちー。ドリルやってない人やつとけつてや

マセン言つてたー」

児童1「俺終わったけど」

児童2「（頭を抱えて）うわ（嫌そうな顔で）うざー、しゃあない。俺それやるわ、ごめん（両手を合わせる）」

日常的な話し言葉では、一文が短く断片的で言いよどみもあり、それだけでは文章として成り立たない表現も多い。同時に、相互のやり取りが頻繁で、時に相手の発話に割り込んででも会話が継続される。ニジャス（二時間後の中休み）やヤマセン（担任の先生のあだ名）などの略語、「とか」「うざい」など通常は文章では用いない俗語を用いることも特徴である。さらに、ジェスチャーや表情と合わせて使われるので、非言語的情報の要素も大きい。一度録画するとわかるが、日常会話の話し言葉はインタビュや小説のそれと異なり、想像以上に断片的で非文的であり、かつ非言語情報に依拠しているのである。

こうした話し言葉の断片性や頻繁なやり取りを書き言葉に持ち込んでいるのが「打ち言葉」である。おそらく児童が最初に接する可能性が高い「打ち言葉」はLINEなどの会話型SNSであろう。そこで、まずは会話型SNSの文例を示して、実際の会話と何が同じで何が違うのかを考えてみるとよい。以下では参考例を示すが、授業では実際のSNS



会話型SNSでのやり取りの例

でのやり取りを収集して例として用いることを勧める。

「打ち言葉」では会話同様の頻繁なやり取りが行われるために、断片的な情報が増え、速く入力する目的から「OK」を「おけ」、「了解」を「りょ」のように表記するネットスラング的な表現も用いられる。また、感情を表現するためにスタンプなどの非言語情報を用いることも特徴である。そうした表面的な特徴にだけ言及するのではなく、なぜ略語が使われるのか、スタンプは実際の会話における何の代替なのか、など、「打ち言葉」の独特な表記の背景についても、児童が考えられるとよいだろう。

実際の授業例として、教科書の単元『話し言葉と書き言葉』の発展的単元として三コマの小単元『「打ち言葉」はじめまして』の概略を下に示そう。話し言葉と書き言葉の違いについて教科書を使って学んだあとで、「話し言葉のような書き言葉」として、LINEなどのSNSの「打ち言葉」があることを紹介する。そして、「打ち言葉」と話し言葉の共通点や相違点について考え、書く単元である。

授業例 『話し言葉』はじめまして

| 二時間め | 一時間め (PCが使える教室) | 事前の活動 |
|--|---|---|
| <p>* 家族や自分のSNSの画面のスクリーンショットや印刷したものを班で持ち寄り、そこでの「打ち言葉」にどのような特徴があるのかを、前時で扱った日常会話の話し言葉と比較しながら班ごとに考える(十五分)。</p> <p>* 「話し言葉と打ち言葉」というテーマで、二百字程度の作文を書く(三十分)。</p> | <p>* 集めた会話のデータを児童に渡し、一、二分程度の会話のやり取りを班ごとに文字に起こす(十五分)。</p> <p>* その際、意味のわからない言葉、言いよどみ、間、ビデオに映る表情やジェスチャーなどもできるだけ文字に起こす。</p> <p>* 各班のまとめを共有して、日常の話し言葉の特徴をまとめる(十分)。</p> <p>* 教科書にあるインタビュ어의話し言葉と、日常会話の話し言葉とを比較する(十分)。</p> <p>* 日常会話の話し言葉のほうが、より断片的、双方向的で、非言語情報に頼る面が大きいことに気づかせる。</p> <p>* 日常会話のような性質をもつ書き言葉として「打ち言葉」があることを説明する(十分)。</p> <p>* 自分や家族のSNSの過去の履歴から公開してよいものを、次の授業までに集めてくることを告げる。</p> | <p>* 休み時間などを使って、クラスの人たちのできるだけ自然な会話をビデオで収集する。</p> <p>* ビデオを教室の一角所に置きっぱなしにして、後に児童に手渡すときはデータをいくつかに分割するとよい。</p> |

■現代の言語生活者として

私たちの生活に急速に入り込んでいる「打ち言葉」は、学校で中心的に取り扱うフォーマルな書き言葉ではないが、現代のコミュニケーションには欠かせない要素である。こうした情報を教室内で取り扱うことにはためらいをもつ教員もいるだろうし、現状では、「打ち言葉」が国語教育の中心的な対象になることも考えにくい。しかし、小学校高学年の児童は、これから言語生活者として「打ち言葉」に出会い、使っていくことになる人たちである。「打ち言葉」の世界に触れ、その表記について考える機会を作りたい。

参考資料

- 『スベシヤリスト直伝！ 中学校国語科授業成功の極意』 池田修 明治図書 二〇一七年
- 「ウェブ上のコミュニケーションの表現と表記・電子機器の進化と加速するやりとり」 石井久美子 『日本語学』 明治書院 二〇一七年九月
- 「小学生白書Web版二〇一八年九月 自由に使える通信機器」 学研 <https://www.gakken.co.jp/kyouikususouken/whitepaper/201809/chapter5/01.html> 二〇一九年七月十五日閲覧
- 「ヴァーチャル方言の3用法 『打ちことば』を例として」 田中ゆかり 『話し言葉と書き言葉の接点』 ひつじ書房 二〇一四年
- 「情報化時代の言語コミュニケーション…媒体・手段の特性と年代差」 田中ゆかり 『日本語学』 明治書院 二〇一九年一月
- 「分かり合うための言語コミュニケーション（報告）」 文化庁 http://www.bunka.go.jp/koho_hodo_osnirase/hodohappyo/_jcsFiles/afeldfile/2018/04/09/at401904_03.pdf 二〇一八年

| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">三時間め</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 作文では、話し言葉と「打ち言葉」の共通点や相違点について、少なくとも一つを取り上げ、自分が実際に見た具体例とともに書く。 ・ 児童の状況次第では、最初の一文や、考えを進める一文、例をまとめる一文など、ヒントを教員側で与えてもよい。 <p>(例) 私が考えた話し言葉と「打ち言葉」の共通点(相違点)は……。</p> <p>この違いが生まれる理由は、……。</p> <p>このように、話し言葉では……なのに対して、「打ち言葉」では……。</p> <p>この特徴が意味するのは、……。</p> <p>私がここから考えたことは、……。</p> |
| <p style="text-align: center;">三時間め</p> | <p>*前回書いた作文を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ多くの人の文章を読み、新たな発見や具体例のおもしろさに触れる機会を増やすとよいだろう。「書き込み回覧作文」(池田、二〇一七)で回し読みをするのが手軽だが、文集を作って配布してもよい。 |

教育現場のユニバーサルデザイン

「UDデジタル教科書体」と書写

※本コラムの本文は、UDデジタル教科書体を使用しています。



株式会社モリサワ
営業企画部 公共ビジネス課
高田 裕美 (たかた ゆみ)

Windows 10 標準搭載「UDデジタル教科書体」の字形

二〇一六年より障害者差別解消法が施行され、教育現場でも「合理的配慮」や「インクルーシブ教育」がキーワードとしてあげられるようになった。多様な子どもたちが分け隔てなく教育を受けられる書体提供を目標に開発した「UDデジタル教科書体」が、Windows 10に標準搭載されてから二年が経とうとしている。先生や教育委員会など多くの教育現場のかたが、この書体の存在を知ってくださり、セミナーのスライドやポスター発表などでもたびたび見かけるようになった。

「UDデジタル教科書体」は、「ロービジョンや視覚過敏の子どもたちに配慮して、角がなく線の太さの強弱を抑えていることから、ややポップなイメージを与えるが、教科書体として書写のポイントもしっかりと取り込んでデザインしている書体でもある。

例えば、縦画と横画の接し方では、「口」と「日」の右下や「良」と「長」の左上の部分、「広」と「成」の左払いと横画の接し方の関係性も、文字を筆順に沿って正しく整えて書くことを意識した書写の考え方に即している【図1】。これらの基本的なポイントは書

体をデザインするときのルールとして統一され、教育漢字や常用漢字に含まれない全ての文字の部分においても一貫しているので、歴史上の人物名や地名など難しい漢字表記をする場面でも対応可能である【図2】。

また「UDデジタル教科書体」は、ICT教育が推進される教育

印刷書体 (例: 明朝体)

書写では、囲みの中に何もなければ横画が出て、囲みの中に点画がある場合は縦画が出ると教える。

書写では、筆順に応じて縦画と横画の出方が異なる。

「良」は縦画より横画を先に書くので横画が出て、「長」は横画より縦画を先に書くので縦画が出る。

印刷書体 (例: 明朝体)

「広」は左払いより横画を先に書くので横画が出て、「成」は横画より左払いを先に書くので縦画が出る。

【図1】書写の考え方に即した字形

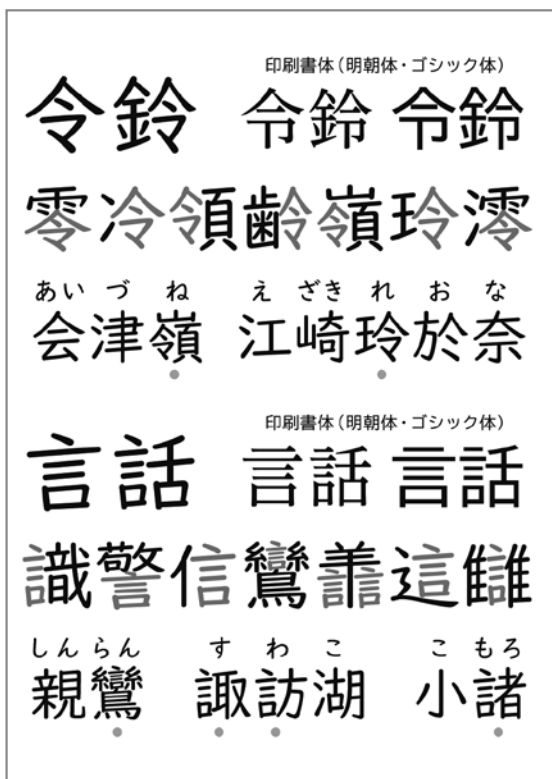
現場において、遠くの席から見ることもある電子黒板やバックライ
トの当たるタブレット表示でも読みやすい。二〇二〇年から使用さ
れる小学校の検定教科書にも、教育出版の書写・社会・算数をはじめ、
多くの出版社に採用された【図3】。先生がたは教科書と同じ書体
を使用して教材を作ることができるメリットもあるだろう。

読み手に伝わりやすくするために何をしたらよいか？

書写の教科書には、読み手に内容が伝わるポスターにするために、
レイアウトの大切さを教える教材がある。上下・左右の余白をあけ
る、題名は目立つように文字を大きくする、内容のまとまりごとに
余白をあけるなど、手書きのポスターだけでなくパソコン使用のポ
スター制作において気をつけるポイントにも通じている。先生がた
がクラスだよりや小テスト、運動会プログラムなど情報を伝えるた
めの資料をパソコンで作る機会も増えている。レイアウトを考える
ことは、強調する部分や箇条書きにする項目など、内容を整理する
ことであり、読む相手への配慮にもなる。書体の選択だけでなく、
文字の大きさや太さ、行間と行の長さとの関係、余白のとり方など、
「相手に伝えるためにどのように工夫したらよいか？」を意識する
ことが大切である。

(レイアウトのこっちは、二〇二〇年春号「ことばだより」に掲載予定)

株式会社タイパンバンクでタイプデザイナーとして三十二年勤務。DTPをはじめテロップ、成分
表示、新聞など、さまざまな分野の書体を手掛ける。十数年前から「BIZ UD明朝/ゴシック」
の元となる「TBUUD書体シリーズ」「UDデジタル教科書体」のチーフデザイナーとして企画・
制作を経て、株式会社モリサワの教育現場での書体の重要性や役割を推進する課に新配属。



【図2】字形ルールの統一



【図3】令和2年版「小学 しょしや 二年」P.19

郷土かるた

— 文字文化としての魅力、教科等横断的な学習材 —

国語科におけるかるたの魅力

かるたは日本古来の遊びであり、日本の文字文化が学べる好教材として、家庭はもとより学校教育などで従来から取り上げられてきた。筆者が勤務する群馬大学中央図書館所蔵の小学校「書写」の各社教科書では、次のような記載がみられる。

【第二学年】筆記用具や色使いの工夫、文字を揃えて書く学習として、学校の様子を一年生に伝えるかるたを作る活動。

【第三学年】漢字の音と訓を一つの読み句に使い、字形を整えながら音訓遊びかるたを作る活動。

【第四学年】小筆を使い、字形や位置を整えながら郷土かるたを作る活動。

【第五学年】これまでの書写の学習を生かし、自分たちのかるた（こ）とわざかるた、漢字の成り立ちかるた、なぞなぞかるたなど）を作って遊ぶ活動。

【第六学年】弥生時代の金印、戦国時代の織田信長の手紙と並んで、江戸時代の光琳カルタを写真掲載し、いろいろな時代の文字を紹介。遊びのなかで文字を伝えてきた文化の一例として、百人一首かるたを紹介。

なお、小学校「国語」の各社教科書では、次のような記載がみられる。

【第三学年】同「書写」教科書と連動して、リズムミカルな音訓かるたを作る読み物。

【第四学年】楽しい言葉の表現を考える教材として、かるたを作って遊ぶ読み物。

【第六学年】短歌や和歌の学習として、百人一首かるたを声に出して読んだり、かるた取りをしたりして、歌の様子や作者の気持ちを思い浮かべる読み物。

管見の限りの例であるが、小学校国語科においては各学年にわたってかるたが取り上げられており、文字文化を学べる魅力的な教材として位置づけられていることがわかる。

平成二十九年版小学校学習指導要領対応の令和二年度教育出版『小学書写』教科書には、第四学年における今日的な教育課題への対応として、郷土かるたや百人一首をとおして郷土や我が国の文化にふれるページ、「ぼうさいかるた」作りをとおして防災について意識を高めるページがある。郷土かるたおよびかるた研究に長年携わってきた筆者としては、多くの児童がワクワクした気持ちでこれらの学習に取り組む姿を期待したい。

郷土かるたを定義すると、「郷土を代表するさまざまな事象を詠み込んだかるた」であり、これまでに全国で二千種以上作られてきている。国語科教育から郷土かるたの魅力を考えると、「言語としての響きや豊かさ」「字形の整え方や配列」「多様な文字文化」「郷土や我が国の文化の尊重」などが該当するだろう。

小稿では、実際の郷土かるたの札や作成方法、教科等横断的な郷土かるたの活用について紹介し、国語教育における文字文化としての郷土かるたの魅力を示したい。

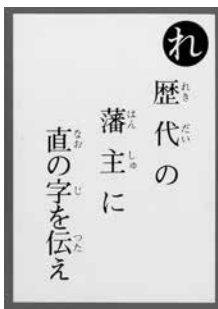


群馬大学・
白鷲大学非常勤講師
原口美貴子

郷土かるたに使われる文字の例

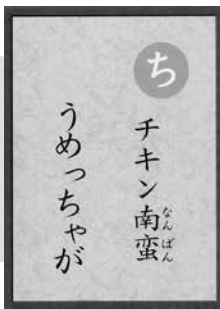
郷土かるたで使われている文字はさまざまである。多くは一般的に読みやすい教科書体や明朝体、ゴシック体などの活字だが、地域の書家や児童・生徒の手書き文字もあって興味深い。つい絵札の方

に着目しがちだが、読み札の文字も表象である。地域のかたが郷土かるたに託した思いやこだわりは、読み札と絵札セットで感じたい。字形や語句、配列の参考に、五種の郷土かるたの読み札と絵札を紹介する。



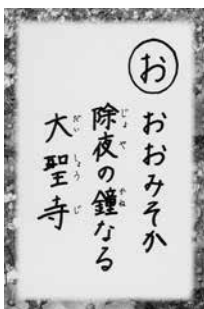
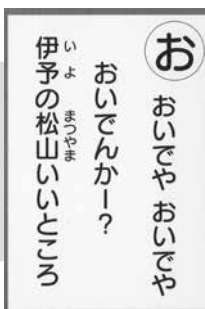
滋賀県の『彦根かるた』(1983年、彦根少年少女ふるさと研究友の会育成会制作発行、彦根青年会議所)は明朝体を使用。漢字(人名)を並べた絵札デザインが珍しく、「直」の字に込めた藩主の想いを考えさせられる。

宮崎県の『ひむかかるた』(2007年、宮崎公立大学地域研究センターひむかかるたプロジェクト編集発行、ひむかかるた協会)は教科書体を使用。方言を取り入れた七五調の読み句。



岩手県の『山田町カルタ』。2014年、山田町子どもまちづくりクラブ、けっばれ山田Toekomst、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン編集発行)は東日本大震災からの復興を目的に作成された。ゴシック体を使用した五七調の読み句。

愛媛県の『まつやまカルタ』(2008年、E-space制作発行)は丸ゴシック体を使用。方言を取り入れた七五調の読み句。「おいでや」「おいでんかー？」と来訪を呼びかけている気持ちが角の丸い活字とよく合っている。



福島県の『なみえっ子カルタ』(2015年、浪江町立浪江小学校・津島小学校制作発行)は児童による手書きの札。東日本大震災でふるさとを離れて暮らす児童がふるさとのよさを思い出し、町民らとの交流の機会をつくるために作成。心の込もった丁寧な手書き文字。

郷土かるたの作成手順

郷土かるたの作り方はいろいろあるが、小稿では郷土の題材についてしっかり調べてから札作りを行う手順を紹介する。なお、郷土かるたを初めて知る児童や、かるたで遊んだことがない児童がいる場合は、作る前にさまざまな郷土かるたを見せたり、実際に遊ばせたりして、その特徴や楽しさを感じさせることから始めると、児童の主体的・対話的な取り組みがよりいっそう進むだろう。

① 郷土の範囲を決める

かるたに詠み込む郷土の範囲を決める。例えば都道府県、市区町村、学区などがあるが、生活科や社会科で児童が学んでいる（学んだ）地域を範囲にする取り組みやすい。

② 札の枚数を決める

犬棒かるたのようにいろは順（または五十音順）に作る場合は頭文字の枚数、百人一首歌かるたのように同じ頭文字が複数あってもよい場合は任意の枚数となる。

③ かるたに詠み込む題材を選んで決める

作る札の枚数に応じて具体的な題材を選んで決める。一つの札に一つの題材でもよいが、関連する二、三の題材を詠み込むこともできる。少し余分に選んでおいてもよい。

題材選びには次のような視点がある。

- ・ 自然・地理的な事柄
- ・ 歴史的な事柄
- ・ 交通・産業・観光的な事柄
- ・ 文化・行政的な事柄
- ・ 郷土への思いや期待

児童からあがるものが少なかったり、視点や地域の偏りが大きかったりする場合は、家族や地域の人にインタビューしたり、図書館やインターネットなどで調べたりして視野を広げさせてから、選んで決めるとよい。

④ 題材を調べる

題材が決まったら、札を作るために必要な情報を深く調べる。関係者や関係機関でインタビューや資料収集をしたり、現地に行つて写真撮影やスケッチをしたりする。

⑤ 読み句（読み札）を作る

④の題材調べをもとに、七五調のリズミカルな読み句を作る。七五調で作られた童謡・唱歌や国語教材で扱う俳句などを紹介して、声に出して読みやすく、聞きやすい句を考えさせるとよい。

読み句作りは、頭文字（平仮名）をあらかじめ児童に割り当てる方法と、児童の自由に作らせる方法がある。後者の場合、児童が作った読み句を頭文字順に揃え、重なりや欠けを確認し、頭文字順に整うまで補作や作成を重ねる作業を要する。パズルのような作業で時間もかかるが、この過程で児童の言語力や対話力が鍛えられ、最終的にすべて整った時の達成感は大い。

読み句ができたなら、小筆や黒のペンで用紙に清書する。あとで頭文字を入れる位置を空けておき、文字の配列のバランスを考えながら、読み句の切れ目で改行して書く。漢字にふり仮名をつけると、その漢字を学習する前の児童でも遊べる。

⑥ 絵札の原画を描く

④の題材調べで収集した資料、写真やスケッチをもとに、読み句に合う絵を水彩やカラーペンなどで用紙に描く。輪郭や細かい部分は細いペンで描いてもよい。

⑦遊ぶための札(カード)を作る

読み札や絵札原画を任意のサイズに縮小または拡大コピーする。コピーした読み札・絵札の四隅の一角所に、丸で囲った読み句の頭文字(平仮名)を書き、プリンター台に並べる。プリンター機種対応の厚手用紙に必要枚数を印刷し、ハサミなどで丁寧に切り離す。

※⑤⑥に関して

- ・読み札や絵札原画用の紙は発達段階に応じたサイズにし、⑦で任意のサイズにコピーするとよい。
- ・各札に書く読み句の頭文字(平仮名)は、市販の白丸シールの周りを黒のペンで縁どり、その中に書いて札に貼ってもよい。
- ・札をパソコンで作成する方法もある。

教科等横断的な学習と郷土かるた

郷土かるたは小学校各教科などでの活用が可能なことから、教科等横断的な学習の展開が期待できる。

国語科……和歌や短歌、俳句などの伝統的な言語文化や、方言など多様性のある言語文化の学習と関わらせながら、郷土かるた遊びや作成を行う。

生活科……郷土かるた遊びを行い、日本語の独特のリズムに親しませておくと、中・高学年国語科での和歌や短歌、俳句学習のレディネスになる。

社会科……地理・歴史・公民の各内容で、方言も取り入れた郷土かるたを作る。

理科……社会科と連携させながら、地域の自然環境や動植物、自然災害などをテーマにした郷土かるたを作る。

外国語科(外国語活動の時間)……郷土かるたの各札のキーワードや簡易なフレーズを英語などで札に書き、A L Tらと遊ぶ。

図画工作科……さまざまな郷土かるたの読み札・絵札から表現技法を学ぶ。パソコンの使用も含め、発達段階に合わせた札作りを行う。

道徳科……「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の観点から、日本文化としてのかるたの価値や、郷土かるたに込めた地域の人々の願いや思いを聞いたり考えたりする。

総合的な学習の時間……各教科などの学習をとおして児童が問題意識をもった現代的な課題を取り上げ、インタビューや現地調査などを行いながら郷土かるたを作って発表する。地域のかたを招いたかるた大会などを実施する。

このほかにも多様な取り組みが可能と考えられるが、教科等横断的に郷土かるたの作成や活用を行うことで、児童の主体的・対話的で深い学び、協働的な学びが可能となるだけでなく、地域の人々や関係施設の協力を得ることで、これからの学校教育が目ざす「社会に開かれた教育課程」の実現にも繋がっていくだろう。それがひいてはサステイナブルな社会の創造に繋がっていくことを切望する。

◆郷土かるたについて詳しくは

特定非営利活動法人日本郷土かるた協会

郷土かるたの調査研究、情報発信、制作・普及支援など、多方面にわたる事業を国内外で展開。理事長は山口幸男(群馬大学名誉教授)。

◆かるたの歴史や種類、遊び方、かるた作りの方法について詳しくは

拙著『かるたをつくって遊ぼう!』全二巻(二〇一九年、国土社刊)

◆さまざまなかるたや無地かるたを販売

株式会社奥野かるた店

東京・神田神保町にあるかるた販売の老舗で日本郷土かるた協会賛助会員。自分だけのオリジナルかるたを作ることができる無地かるたを販売。

特定非営利活動法人日本かるた協会副理事長。専門は社会科教育学(身近な地域の教育・郷土教育)。群馬大学・白鷲大学にて教職課程「社会」及び「生活」に関わる講義を担当。講義の一環として学生とともにフィールドワークを取り入れた郷土かるた作りに取り組んでいる。



第17回

まもなく締め切り!!

地球となかよし メッセージ 作品募集 (2019年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、
写真 (またはイラスト) にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

| | |
|-----------|--|
| 応募資格 | 小学生・中学生(数名のグループ単位での応募も可) |
| 応募期間 | 2019年7月1日～9月30日 詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。 |
| 作品 テーマ | ①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境や生き物を守るための取り組み ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交流、国際理解に関すること ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと |

前回
入選作品



四季のある日本

私たちが住んでいる地球。その中でも、私が住んでいる日本には、春夏秋冬という四季があります。その事により、旬の食べ物や、その時期にしか見られない動物や植物がたくさんあります。そして、夏は暑く、冬は寒いといった特ちょうもあります。

しかし最近では、地球温暖化により、少しずつ季節がくるっているように感じます。

これから先も、地球に住みつづける私たちが、四季を感じながら生きていくには、地球をよごさず、動物や植物を大切にしていかなければなりません。ポスターをかいたことにより、あらためて気づくことができました。(小学4年)

◎主催/教育出版 ◎協賛/日本環境教育学会
◎後援/環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞
*協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね
<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>



教育出版

「地球となかよし」事務局

TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10

小学国語通信 ことばだより〔2019年 秋号〕 2019年8月31日 発行

編集：教育出版株式会社編集局 発行：教育出版株式会社 代表者：伊東千尋

印刷：大日本印刷株式会社

発行所：教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10

電話 03-3238-6864 (内容について)

URL <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

03-3238-6901 (配送について)



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F

TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509

函館営業所 〒040-0011 函館市本町 6-7 函館第一ビルディング 3F

TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198

東北支社 〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F

TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395

中部支社 〒460-0011 名古屋市中区大須 4-10-40 カジウラテックスビル 5F

TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825

関西支社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 1-6-27 ヨシカワビル 7F

TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401

中国支社 〒730-0051 広島市中区大手町 3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F

TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040

四国支社 〒790-0004 松山市大街道 3-6-1 岡崎産業ビル 5F

TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134

九州支社 〒812-0007 福岡市博多区東比恵 2-11-30 クレセント東福岡 E 室

TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140

沖縄営業所 〒901-0155 那覇市金城 3-8-9 一粒ビル 3F

TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのっとり、配付を許可されているものです。